

優秀会員5人と2団体を表彰 22年度

グループ〈わ〉の22年度優秀会員5人と優秀グループ3団体が別表のとおり、4月5日の理事会で決定しました。5月19日の〈わ〉総会で表彰式がおこなわれます。

【優秀会員】

- ・亀田俊彦（音1）＝民謡・三味線の指導
- ・川島清一（園4）＝神戸港ガイドで活躍
- ・白岩信義（国7）＝区会活動に新境地
- ・豊田 實（生4）＝神戸情報館での活躍
- ・宮城智子（音2）＝福祉施設の友愛訪問

【優秀グループ】

- ・むかしあそび研究会＝伝統玩具の伝承
- ・中央区会と真愛ホーム介助
＝真愛ホームなどの支援（連名表彰）

施設訪問など多彩な活動

優秀会員表彰制度は昨年からはまったもので今回が2回目。グループわで7年以上の活動歴がある会員と5年以上のグループが対象。個人は5人、グループは2団体を表彰します。推薦があった会員とグループは運営委員会で投票により選考し、理事会で決定することになっています。

22年度は、施設訪問など多彩な活動を長年続けてきた会員5人・グループ10団体の推薦が寄せられました。3月25日の運営委員会では理事・区会長・部会長ら32人が投票（7人棄権）の結果、別表のとおり決まったものです。中央区会と真愛ホーム介助は、活動対象が主に真愛ホームなので、連名での表彰となりました。

【表彰会員・グループの活動内容】

▼亀田俊彦（音1）＝民謡クラブ推薦＝KSC入学を機に趣味の三味線演奏を生かして、クラブを結成。以後、14年間にわたり老人ホームや地域老人会などへ出かけ、日本民謡の歌唱指導と三味線の演奏を通してボランティア活動をしているほか、現在も民謡クラブの講師として後輩の指導にあたっている。

▼川島清一（園4）＝細野恵久・須磨区会長推薦＝KSC卒業後、平成12年4月から神戸港中突堤中央ターミナルのガイドボランティアに参加。リーダーとして後輩を育て現在も継続しているほか、須磨歴史クラブ・「傘亭」を復元する会・天井川を美しくする会など、須磨の魅力アップのために活躍している。

▼白岩信義（国7）＝長谷川博・東灘区会長推薦＝ブルトップを集めて施設に車椅子寄贈を実現させるなど、

区会活動に新たな境地を開拓。個人としても、老人ホームと一緒に歌をうたったり、ふれあい喫茶を手伝ったり、幼稚園では園児たちと野菜作りや餅つきを楽しんでいる。

▼豊田實（生4）＝井上堅推薦＝KSC在学中から西国街道を中心にした神戸の歴史を研究。歴史探訪クラブの指導を続けるほか、コミスタ神戸、文化センターなどで市民講師を務めている。神戸市が開設したホームページ・神戸情報館の編集委員として平成15年の開設以来、活躍を続けている。

▼宮城智子（音2）＝加藤勇治推薦＝カレッジ入学2年目に阪神大震災が発生。仮設住宅や福祉施設を音文の仲間と回ってコーラスで慰問した。平成11年からは、村内にある明生園で歌やゲーム指導を開始。兵庫ひまわり会の中核メンバーとしても高齢者訪問活動を12年以上にわたって続けている。

▼むかしあそび研究会（入江敏行代表推薦）＝伝統的な玩具で子供たちと遊び、面白さを体験させようと平成13年に結成。幼稚園・小学校・児童館・地域イベントなどへ積極的に出向き、笑顔で活動をしている。メンバーは200人を超え、道具や材料はすべて手作りをモットーにしている。

▼グループ〈わ〉中央区会＝元田弘忠・区会長推薦＝

▼真愛ホーム介助＝加藤勇治・福祉部会長推薦＝両グループは、特養・真愛ホーム（中央区）の開設以来、13年にわたって入浴介助・歌唱指導・マジック実演など、年間120回のボランティア活動続け、第1回賀川記念賞（22年）を受賞している。真愛ホーム介助は福祉部会として活躍していたが、現在は中央区会のメンバーが中心となっている。中央区会はこのほか、老健施設や介護施設での書道・絵画の指導・マジック実演が年間100回近くあり、社協などのイベントにも積極的に参加している。

【表彰団体以外に推薦のあった7グループ】

▽英語点字▽里山グループ▽神港園▽ナツメロ2▽花山梅林会▽舞子駅周辺ガイド▽野鳥と自然観察会

〈わ〉の総会 5月19日に

グループ〈わ〉の第8回総会は、5月19日（木）10時からシルバーカレッジホールで開催します。

「情報ぎゃらりー」4月号（54号）に、総会資料などを同封していますので、ご一読のうえ、出席をお願いします。出欠のご返事は6日までをお願いします。午後にはコンサート（無料）も予定されており、どなたでも参加できます。プログラム内容は11面「WAれぽーと」にあります。